

試験当日

キャンパスで対面により試験や面接を行う入学者選抜

(デザイン工学部総合型選抜)

- 試験開始 20 分前までに受付を済ませ、指定された座席に着席してください。
- 試験会場内では、試験監督者の指示に従ってください。
- 必ず受験票を持参してください。受付で受験票を提示し、試験会場内では常に携帯してください。受験票を紛失・破損した場合は、受付の係員に申し出て受験票の再交付を受けてください。受験票を忘れた場合も同様に受付で係員に申し出て、受験票の再交付を受けてください。
- 上履きは必要ありません。
- 試験会場に時計はありませんので、持参してください。
- 日曜日は、学生食堂や生協等の売店は営業していません。必要に応じて昼食を持参してください。
- 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し、治癒していない場合は、他の受験生や監督者等へ感染の恐れがあるため、受験をご遠慮願います。なお、受験できなかった場合でも、追試験や入学検定料の返還は行いません。
- 遅刻者の入室限度時刻は試験開始後 20 分までです。また、試験が終了するまで退室できません。
- 試験中に使用可能な物品は下表のとおりです。

試験中に使用を認めるもの	試験中に使用を認めないもの
<ul style="list-style-type: none">・黒鉛筆・シャープペンシル・プラスチック製消しゴム・鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類を除く）・時計*（標準的な時計機能だけのもののみ可。秒針音のするもの、大型のものは除く）・鉛筆キャップ・眼鏡・目薬・ハンカチ・ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）	<p>左記「試験中に使用を認めるもの」以外のものは使用を認めません。以下に例を挙げます。</p> <ul style="list-style-type: none">・携帯電話、スマートフォン、PHS、ストップウォッチ、スマートウォッチ、タイマーなどの電子機器・下敷き・定規（定規機能を備えた鉛筆等を含む）・グラフ用紙・コンパス・アラーム機能、計算機能、辞書機能等を備えた時計・電子辞書、翻訳機・電卓、そろばん・耳栓・赤ペン、色鉛筆、色マーカーペン

*試験室に時計はありません。

*プロダクトコースの実技試験では、上記「試験中の使用を認めないもの」のうち一部使用を認められる物品、また追加で使用可能な物品があります。詳細は要項上の「学科の求める人物像と選考方法」ページを確認ください。